

競技注意事項

1. 競技規則について

競技は、2023年日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項による。

日本陸上競技連盟競技規則の規定に適合しないシューズの使用を禁止する。また、フィールド競技シューズ規則の適用除外期間（2024年10月31日まで）であることから、フィールド種目においては「靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない」の規定に合致しないシューズも使用を認めるが、WAへの申請はせず、記録は国内のみ有効となる。

WA競技規則CR18.5の規定により、TR6、16.5、17.14、17.15.4、25.5、25.19に違反があった競技者やリレーチームにYCを提示し警告を与える。この場合他の種目との合算は無く、種目ごとに累積し、種目ごとにリセットする。同一種目で2回のYCの提示を受けた競技者は、当該種目を失格とする。ただし、それ以降の他の種目の出場は可能である。YCを提示の累積は、当該種目のみに適用する。

2. 練習会場等について

- (1) メイン競技場外の投擲練習は禁止する。招集終了後メイン競技場内で審判の指示で練習を行う。
- (2) サンサンデッキ下駐車場での全ての練習を禁止する。
- (3) 雨天練習場は、第1日目は走幅跳の選手控え場所として窓側の一部を使用する。第2日目は規制しない。

3. 招集について

- (1) 招集時間は、以下のとおりとする。招集場所は北側倉庫前とする。

招集時間	開始	終了
トラック	25分前	15分前
フィールド	50分前	40分前
走高跳	60分前	50分前
棒高跳	90分前	80分前

- (2) リレーオーダー用紙は、競技日程に記載された時刻までに提出すること。

4. 競技について

- (1) 短距離種目では、競技者の安全確保のため、フィニッシュライン通過後も自分のレーンを走ること。
- (2) 男子5000m・3000mSCは、タイムレース決勝とする。
- (3) 男子800m予選は、オープンスタートとする。
- (4) 男女5000m競歩は、競技運営上の理由から途中で競技を止める場合がある。35分を超えて次の周回に入らない。
- (5) 男子5000m・女子3000mはグループスタートで実施する。
- (6) 三段跳の踏切板は男子11m、女子は9mでおこなう。
- (7) フィールド競技の公式練習は、原則2回とする。
- (8) 携帯電話やトランシーバー、ビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CDもしくは類似の機器を競技場内に持ち込むではない。

5. アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブスは胸部と背部に着けること。ただし、跳躍競技に出場する競技者は、胸部または背部のみでよい。
- (2) トラック競技出場者は、写真判定用の腰ナンバー標識（レーンナンバーカード）を招集所で受け取り、3000m以上の走者はパンツの左右後方に、1500m以下及び4×100mRのアンカー、4×400mRの2走・3走・4走はパンツの右後方につけること。

6. 競技の抽選並びに番組編成について

- (1) トラック競技のレーン順及びフィールド競技の試技順序は、それぞれプログラム通りとする。ただし準決勝以後は主催者で抽選して決定する。
- (2) トラック競技においてプラス出場者が決定数を超える場合、同記録者については、写真判定を拡大し、細部まで読み取り着差の判定をする。1000分の1秒まで同じで、レーンに余裕のない場合は本人または代理人によって抽選する。

7. 競技用具について

- (1) 棒高跳用のポールは跳躍場において審判員が検査する。やり、ハンマー、砲丸、円盤は各競技1時間前から招集完了時刻まで第1ゲート横（フィニッシュ側）器具庫内において検査する。検査に合格した器具は、競技場借上げとして使用することができる。競技終了後、同じ場所で返却する。
- (2) スパイクの長さは9mm以下を使用する。但し、走高跳・やり投は12mm以下とする。

8. フィールド競技計測ラインについて

※荒天の場合は審判長が指示する。

	走幅跳	三段跳	砲丸投	円盤投	やり投	ハンマー投
男子	5 m 8 0	1 2 m 0 0	9 m 0 0	2 0 m 0 0	3 5 m 0 0	
女子	4 m 6 0	9 m 5 0	7 m 0 0		2 0 m 0 0	

9. 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方について

※荒天の場合は審判長が指示する。

		練習	試技				
男	走高跳	1.55・1.75・1.85	1. 6 0	1. 6 5	1. 7 0	1. 7 3	以後3cmずつ
女	走高跳	1.30・1.40・1.55	1. 3 5	1. 4 0	1. 4 5	1. 4 8	以後3cmずつ
男	棒高跳	2.00・3.30・4.00	2. 8 0	3. 0 0	3. 2 0	3. 3 0	以後10cmずつ
女	棒高跳	2.00・2.30・3.00	1. 8 0	2. 0 0	2. 2 0	2. 3 0	以後10cmずつ

第1位が複数出た時は順位決定を行う。また、第6位が複数出た時は代表決定を行う。

この時のバーの上げ下げは、走高跳2cm、棒高跳5cmとする。

10. 表彰について

1位から6位の入賞者には賞状を授与する。1位から3位までの選手は結果の正式発表後10分以内に中央玄関ロビーに集合すること。表彰を受ける選手は、チームジャージまたはユニフォームで行う。

4位から6位までの賞状は、各学校顧問が受け取り、持ち帰る。(1階ロビー)

11. 東海高校新人陸上競技選手権大会について

各種目6位までの入賞者6名には、10月28・29日 三重交通Gスポーツの杜伊勢にて行われる、第26回東海高校新人陸上競技選手権大会への出場権を与える。競技結果正式発表後すぐに玄関ロビーで受付を行うこと。都合により出場を辞退する場合は、競技結果正式発表後、30分以内に受付まで連絡すること。出場辞退があった種目は、決勝出場者より順に繰り上げ推薦し、出場権を与える。

12. その他

- (1) 補助員は、両日とも**8時00分**に、1階の雨天走路に集合すること。
- (2) 各自が使用した場所は、責任を持って清掃し、ごみも必ず持ち帰ること。
- (3) 大会期間中に競技場で発生した傷害や疾病は、救護室で応急処置を行うが、その後の責任は負わない。

参加人数・参加校数

	男子	女子	合計
岐阜	269	149	418
西濃	94	39	133
中濃	126	67	193
東濃	117	68	185
飛騨	66	28	94
合計実人数	672	351	1023
合計参加校	62	53	63

- (4) 撮影禁止エリア（巻末参照）におけるカメラ、ビデオ等の撮影を禁止します。
- (5) 競技場（雨天走路を含む）および補助競技場内には、選手および競技役員以外は立ち入らないこと。